

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0329

(注)本稿は 2014 年 11 月 4 日と 5 日の 2 回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.11.6
前田 高行

貫禄の ExxonMobil、見劣りする BP:五大国際石油企業2014年7-9月期決算速報

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 五社の7-9月期業績比較	2
2. 前年同期との業績比較	4

五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の7-9月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益、売上高利益率、石油・天然ガス合計生産量及び設備投資の五項目について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の前年同期との増減を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxon-mobil-corporation-announces-estimated-third-quarter-2014-results>

Shell:

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2014/third-quarter-2014-results-announcement.html>

BP:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/third-quarter-2014-results.html>

Total:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/third-quarter-2014-results>

Chevron:

http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/10312014_chevronreportsthirdquarternetincomeof56billion.news

また2008年から2013年までの通年の業績比較は弊レポート「五大国際石油企業2013年度業

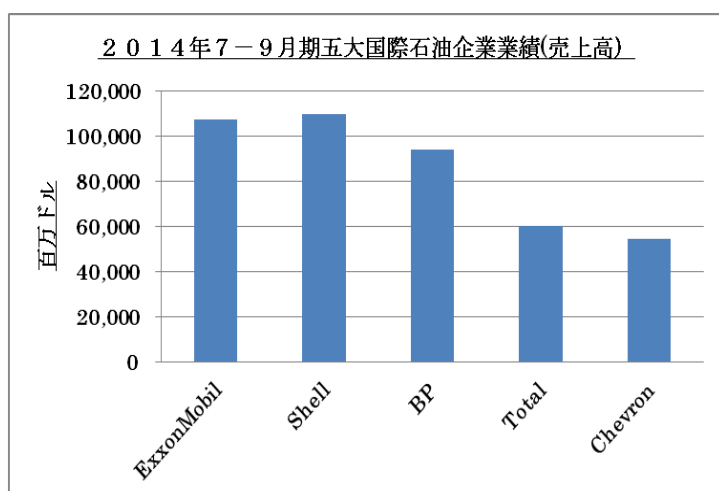
「速報シリーズ」を参照されたい。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0298FiveMajors2013.pdf>

1. 五社の7-9月期業績比較

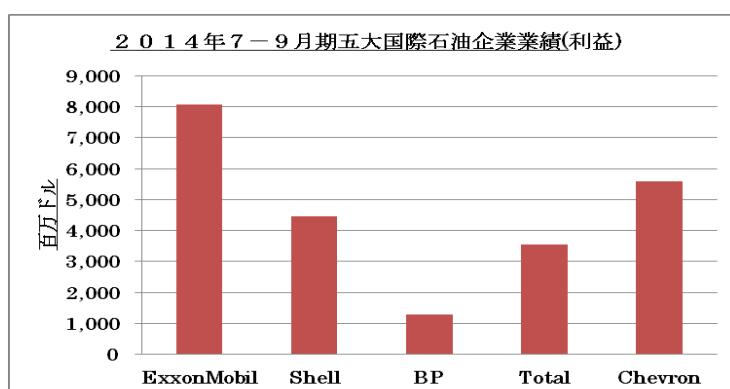
五社を横並びで比較すると利益、生産量及び設備投資の3部門で ExxonMobil がトップである。ExxonMobil は売上では Shell にわずかに及ばず、売上高利益率で Chevron に引き離されているものの安定した決算で横綱の貫禄がある。また Chevron は売上が五社中で最も少ないが利益は ExxonMobil に次いで二番目に多く、この結果売上高利益率はトップであり、また設備投資も ExxonMobil と肩を並べている。これに対して BP は売上高こそ Shell、ExxonMobil に次いで3番目に多いものの、利益が五社の中では極めて少なく、生産量、設備投資も五社で最も少ない。BP は他の四社に比較してかなり見劣りのする決算業績となっている。

(1) 売上高



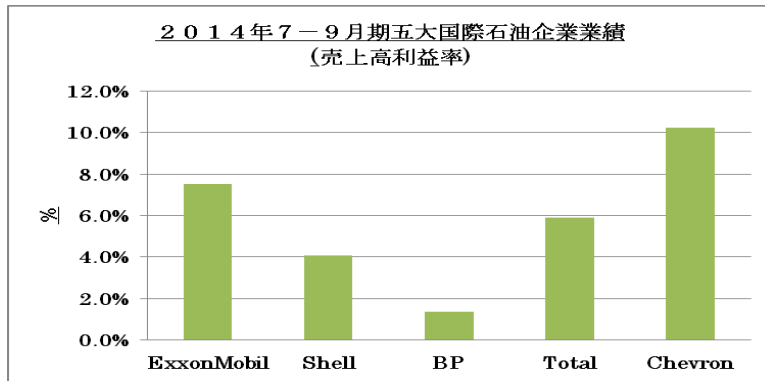
2014年7-9月の売上高は5社いずれも前年同期比では減収であった。ExxonMobil の売上高は1,075億ドル(前期比-4.5%)、Shell 1,098億ドル(同-7.7%)、BP 939億ドル(同-2.9%)、Total 604億ドル(同-2.5%)、Chevron 547億ドル(同-7.0%)であった。Shell と Chevron 両社の減収幅が大きい。

(2) 利益



ExxonMobil の期間利益は81億ドル、前年同期比+2.5%であった。以下、Shell 45億ドル(同-4.8%)、BP 13億ドル(同-172%)、Total 36億ドル(同-2.0%)、Chevron 56億ドル(同+11.5%)である。ExxonMobil と Chevron は増益であるが他の3社は減益

であり、特に BP の利益は前年同期の3分の1にとどまっている。

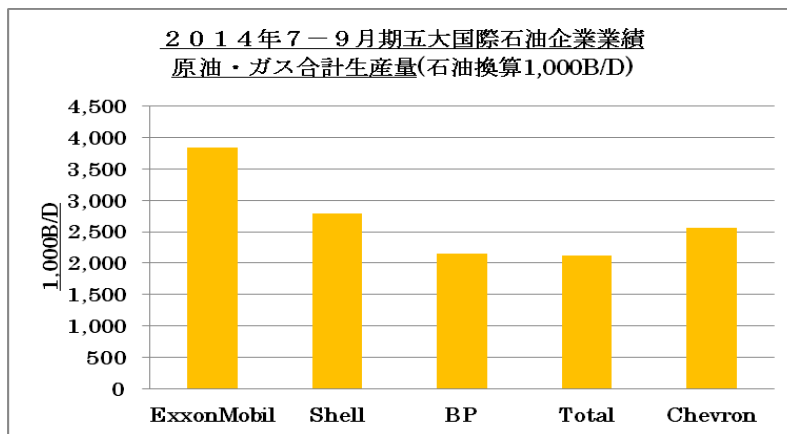


(3) 売上高利益率

売上高利益率は ExxonMobil が 7.5%、Shell 4.1%、BP 1.4%、Total 5.9%、Chevron 10.2% であり、Chevron のみが二桁の増益率を達成している。各

社の前年同期の利益率はそれぞれ 7.0%、4.0%、3.6%、5.9% 及び 8.5% であり、ExxonMobil が安定して 7% 台の利益率を維持していることは注目すべきであろう。

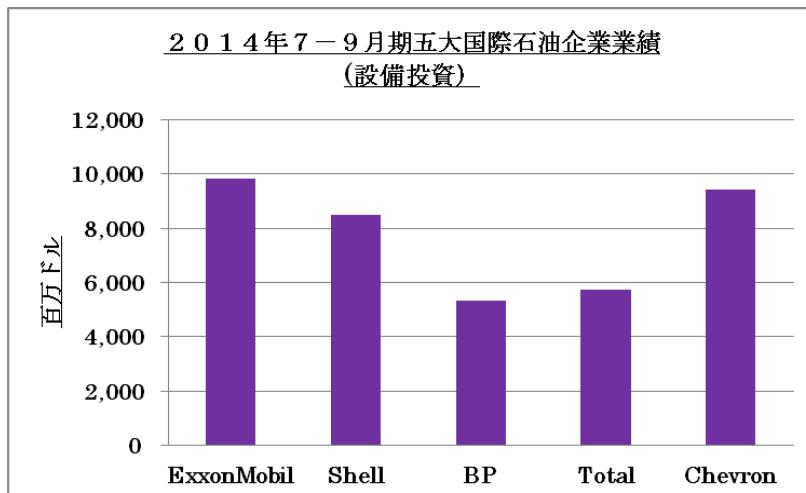
(4) 原油・ガス生産量



石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量は ExxonMobil 3,831 千 B/D、Shell 2,790 千 B/D、BP 2,147 千 B/D、Total 2,122 千 B/D、Chevron 2,568 千 B/D であり、5社とも前年同期を下回っている。特に Total は -7.

7% と落ち込みが激しい。同社はずい先日事故死した前会長のもとでリスクのある探鉱投資を推し進めたが、生産量の減少に歯止めがかからず、最近探鉱投資の方針を変更している。

(5) 設備投資



2014年7-9月の各社の設備投資額は ExxonMobil 98億ドル、Shell 85億ドル、BP 54億ドル、Total 57億ドル、Chevron 94億ドルである。このうち Total 以外はいずれも投資水準を前年同期より下げているが、上記に述べたとおり同

社は探鉱投資の判断ミスがあり、最近投資規模を下方修正したばかりである。

2. 前年同期との業績比較(末尾表 1-D-4-20 参照)

売上高及び原油・ガス生産量は五社ともに前年同期を下回っている。利益はBPが前年同期の3分の1に大きく落ち込んでおり、一方 Chevron は二桁台の増益であった。設備投資は Total 以外は昨年同期比で減少している。

(1) ExxonMobil

ExxonMobil の2014年7-9月期の売上高は1,075億ドルであり、前年同期の1,124億ドルに比べ-4.5%の減収であった。これに対して利益は81億ドルで前年同期を2.5%上回った。この結果、同社の売上高利益率は前年同期の7.0%から今期は7.5%に改善されている。

原油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で383万 B/D であったが、前年同期は402万 B/D であり4.7%減少している。また7-9月期の設備投資は98億ドルであり、前年同期の105億ドルに比べ-6.7%であった。

(2) Shell

Shell の2014年7-9月期の売上高は1,098億ドルであり、前年同期の1,183億ドルに比べ-7.7%の減収であった。利益は45億ドルでやはり前年同期の47億ドルを4.8%下回っている。売上高利益率は4.1%であり前年同期とほぼ同じ水準である。

原油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で279万 B/D であったが、前年同期は293万 B/D であり4.8%減少している。また7-9月期の設備投資は85億ドルであり、前年同期の97億ドルに比べ-12.4%と大きく下落している。

(3) BP

BP の2014年7-9月期の売上高は939億ドルであり、前年同期の966億ドルに比べ-2.9%の減収であった。これに対して利益は13億ドルで前年同期の35億ドルのほぼ3分の1に激減している。この結果、同社の売上高利益率は前年同期の3.6%から今期は1.4%と大きく落ち込み、5社の中では極めて低い利益率であった。

原油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で215万 B/D であり前年同期の221万 B/D に比べて2.7%減少している。また7-9月期の設備投資は53億ドルであり、前年同期の59億ドルに比べ-9.7%であった。

(4) Total

Total の2014年7-9月期の売上高は604億ドルであり、前年同期の618億ドルに比べ-2.5%の減収であった。利益も36億ドルで前年同期を2.0%下回り、売上高利益率は前年同期と同じ5.9%であった。

原油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で212万 B/D であったが、前年同期は230万 B/D であり7.7%減少している。また7-9月期の設備投資は57億ドルであり、前年同期の48億ドルに比べ19.5%増加している。但し先に触れたとおり積極的な探鉱投資は裏目に出ており生産量の増加につながらないため同社は最近投資の見直しを行っている。

(5) Chevron

Chevron の2014年7-9月期の売上高は547億ドルであり、前年同期の585億ドルに比べ7.0%の減収であった。これに対して利益は前年同期50億ドルを11.5%上回る56億ドルであった。この結果、同社の売上高利益率は前年同期の8.5%から今期は10.2%となり5社の中では唯一2桁台の利益率となっている。

原油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で前年同期とほぼ同じ257万 B/D であった。また設備投資は94億ドルであり、前年同期の106億ドルに比べ11.1%であった。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

2014年7-9月期国際石油企業の業績

		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2014年7-9月	107,490	109,825	93,904	60,363	54,679
	前年同期	112,372	118,258	96,601	61,844	58,503
	増減(%)	-4.5%	-7.7%	-2.9%	-2.5%	-7.0%
利益(百万ドル)	2014年7-9月	8,070	4,463	1,290	3,558	5,593
	前年同期	7,870	4,677	3,504	3,628	4,950
	増減(%)	2.5%	-4.8%	-171.6%	-2.0%	11.5%
売上高利益率(%)	2014年7-9月	7.5%	4.1%	1.4%	5.9%	10.2%
	前年同期	7.0%	4.0%	3.6%	5.9%	8.5%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2014年7-9月	3,831	2,790	2,147	2,122	2,568
	前年同期	4,018	2,931	2,207	2,299	2,585
	増減(%)	-4.7%	-4.8%	-2.7%	-7.7%	-0.7%
設備投資(百万ドル)	2014年7-9月	9,837	8,472	5,349	5,740	9,410
	前年同期	10,546	9,667	5,922	4,804	10,585
	増減(%)	-6.7%	-12.4%	-9.7%	19.5%	-11.1%